

カルガモ



カルガモ



4～7月に10羽程のヒナが生まれる

ヒナを連れ、よちよち歩きで道路を横断するお引越し姿が有名なカルガモは、全国の水辺で一年中見ることができる身近な鳥（北海道では夏鳥）です。

県内でも川や池、水田、海岸近くの海上など、いたる所で見かけられます。

オス・メス共に、全身が茶色で地味な印象をうけますが、黒いくちばしの先端のくっきりとした黄色や、脚部分の鮮やかなオレンジ色がチャームポイント。又、翼の縁の部分が白く、翼鏡と呼ばれる羽の一部は、光沢のある深い青色をしています。

黒い線がある

遠目からでもくっきり見える
黄色のくちばし先端



鮮やかな
オレンジ色の足

